

2011年3月18日

北海道開発局長 高松 泰 様  
北海道開発局室蘭開発建設部長 上西 隆広 様

平取ダム建設問題協議会 代表 松井和男  
(社)北海道自然保護協会会長 佐藤 謙  
自然林再生ネットワーク 代表 前田菜穂子

### 平取ダムの第二回検討の場に関する抗議ならびに検討内容の要請

まず、貴職に対して、以下に述べる理由から強く抗議します。私たちは、平取ダム問題に関して、室蘭開発建設部（室蘭開建）と一定の信頼関係をもって意見交換を続けてきました。ところが、第二回検討の場については、3月22日開催が予定されているとの未確認情報があったため、3月14日に室蘭開建に問い合わせましたところ、決まったら必ず連絡すると述べながら22日開催についてはいっさい述べませんでした。その後、私たちは、3月11日付けの平取町広報に3月22日に第二回検討の場が開催されるとの記事があることを知り、何故、平取町広報に詳細日程が掲載されているか不思議に思いました。ところが、室蘭開建から私たちに、3月17日になってから5日後の3月22日に開催するとの連絡がありました。

以上の経緯を踏まえますと、22日開催が3月11日時点で決まっていたのに、なぜ17日になってから私たちに連絡したのか、極めて疑問です。すでに決まっていた計画を14日には知らせず、開催日5日前に連絡することは、今までの信頼関係をまったく無視した強引な行為と判断します。この経緯について、強く抗議いたします。同時に、何故、3月22日開催について問い合わせたときに知らせず、5日前に開催を連絡してきたのか、その理由を明らかにしていただきたい。

さて、検討の場における検討内容について、強い抗議と、改めての要請をいたします。私たちは2月15日付け要望書において、検討の場における検討の進め方と具体的問題点を指摘し、開発局長の回答を求めました。開発局長名で回答を求めた私たちの要望に対して、3月4日に、何の説明もないまま開発局建設部河川計画課から回答がありました。私たちは、この点についても貴職に抗議し、回答における責任の所在を明らかにするため、私たちの要望に対して次回から北海道開発局長名でご回答いただくよう強く求めます。

3月4日付け回答では、私たちの要望や質問に対していっさい対応することなく、国交省の中間とりまとめの骨子を述べるだけに終始しました。何故、具体的な要望や質問内容に関して開発局長が明解に回答できないのか、できないのであればその理由をご説明いただきたいと強く要請しなければなりません。

このような趣旨を踏まえて、第二回検討の場において、私たちは改めて、以下の点を明らかにしていただくよう要請します。

#### 要請事項

1. 第二回検討の場が以前から計画されていたのに、急に3月17日になって連絡された経

緯をご説明願いたい。

2. 第二回検討の場で、下記の点について検討していただきたい。沢山の検討事項を要望したいのですが、2時間では多くは論議できないと考え、次の3点を検討課題として取り上げていただきたい。

1) 北海道開発局は、二風谷ダムの堆砂はこれ以上進まないと述べています。この根拠をわかりやすく、私たちだけでなく検討の場の構成員に対して科学的根拠をもって説明してください。このことがはっきりしないと、治水計画は砂上の楼閣となります。

2) 平取ダムの排砂ゲートは小さいものです。黒部川の出し平ダムの排砂ゲートと比較しながら、1年間に堆積した土砂が雪解け排砂でほとんど排出されることをわかりやすく説明していただきたい。

3) 二風谷ダム集水域（平取ダム域を除く）は  $981 \text{ km}^2$ 、平取ダム集水域は  $234 \text{ km}^2$ なので、二風谷ダム集水域は平取ダム集水域の4倍以上あります。一方、二風谷ダムの洪水調節量は  $600 \text{ m}^3/\text{秒}$ 、平取ダムのそれは  $1.000 \text{ m}^3/\text{秒}$ とされています。流域面積の小さい平取ダムの洪水調節量が、流域面積が4倍以上ある二風谷ダムよりかなり大きくなっているが、実際に大きな降雨があったときに、このような机上の計算が成り立つのかどうか、ご説明願いたい。